



# 西念寺だより 文月号



令和6年7月10日

〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地

TEL 0774-62-1027, 63-2912 FAX 26-9683

## 今年もお盆が近づいて参りました

今年は梅雨に入ると災害級の雨が降り続いたり、真夏のような暑さが続いたりしています。また、夜になってもエアコン無しでは寝てられないような日が続き、本当に体調管理が大変な日々となっています。皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。

今年元旦の夕方に能登地方で大きな地震が発生し、大変な年明けとなりました。それもついこの間のような気がしますが、既に今年も折り返し点を過ぎてしまい、月日の経つあまりの速さに驚かされます。

さて、能登地方を襲った地震報道ですが、最近はすっかりニュースでも見る機会が減っていましたが、7月になってちょうど半年が過ぎたタイミングだからでしょうか、また様々なメディアで報道されることが多くなってきました。

そのような中で強く感じるのは、全くと言っていいほど復旧が進んでいないということです。全壊家屋の撤去率も5%以下、半壊家屋に至っては殆ど手付かずの状態、しかも撤去やその後の再建も全て自費で対応しないといけないとなると、進むはずがありません。単に物理的な問題だけでなく、仕事の再開や継続、子ども達の心に深く残る恐怖など、心の葛藤に関わる目に見えない多くの課題も残っているのではないのでしょうか。

先日の京都新聞のコラムに次のような記事が載っていました。

雨の中、傾いた本堂はかろうじて立っていた。墓地は液状化で地面がゆがんだまま。「まだ気持ちの整理もつかない」。住職の濤恵周さんは静かに語った

珠洲市は一昨年からの震度6の地震が続き、住居や本堂の修理に追われていた。頭と腕を直した本尊が戻ってきたのは昨年秋。そこへ元日の大きな揺れが追い打ちをかけ、建物は解体せざるを得ないという状態。

人口減がさらに進む過疎地で、どう建て直すか。何とか心が折れなかったのは、全国から駆け付けてくれた人たちとの触れ合いが大きかった。

ところが春以降、支援の動きは目に見えて減った。お堂の解体は、着手のめども立たない。「このまま忘れられていくのか」。崩れ落ちた鐘楼の前で濤さんがつぶやく。ブルーシートに落ちる雨音が重く響いていた。」

明日は我が身、毎日何不自由なく暮らしている私たちの京都から僅か3時間あまりで行けるところで、こんなにも御苦労されている方々がおられることにもっと目を向け、自分に出来ることを考え実践していくことが大切なのではないかと感じます。

間もなくお盆がやって参ります。お盆には日々大禍無く無事に過ごさせていただいている事に感謝し、改めて御先祖や父母をはじめ、多くの命の繋がりの中で生かされている自分に気付くと共に、自他ともに救われる功德を積む期間です。

現代の複雑化した社会の中で私たちは伝統を守りながらも、時代の変化に相応しい新しい形で捉え、お盆を通じて、多くの人々が心をついにし、未来への希望と感謝を持って生活を見つめ直す。お盆をそのような気持ちでお迎えしたいと思います。



**裏面に続く**

## 【本年度お盆行事について】

8月に入りますと、様々なお盆行事が続きます。皆様方の御協力を得て、無事に終わらせていただきたく、御理解と御協力をお願い申し上げます。

- ・ **境内お墓参り**
  - ・ 例年どおり、5日(月)、6日(火)、7日(水)まで行います。
  - ・ お墓参りをお済ませいただき、本堂内で御回向申し上げます。
  - ・ 午前中は混み合いますので、他家と御一緒に勤めさせていただく場合がございます。何卒御了承の程お願いいたします。
- ・ **精霊迎え十日盆**
  - ・ 異常な暑さが続いておりますことから、今年も水塔婆は本堂内で書かせていただきます。詳しくは別紙プリントをご覧ください。
  - ・ 昨年より、高野楨は諸般の事情により無料配布を中止しております。誠に申し訳ありませんが、ご入用の場合は1本500円程度の御寄進をお願い申し上げます。
  - ・ これまで卒塔婆の事前申し込みを実施して参りましたが、事前申込の割合が年々多くなり、この作業に多大な時間が必要になった一方で、当日の受付は益々減っている状況です。本来は対面で書かせていただくものであり、優秀な書道家にお越しいただいておりますので、是非当日直接書かせていただければと存じます。なお、多くの水塔婆御回向を御寄進いただく方には、お待ちいただく時間短縮のため従来からの事前受付も行っておりますので、御利用いただければと存じます。
  - ・ 当山は駐車場が大変狭いため、例年田辺区公民館駐車場をお借りしています。そちらも合わせて御利用ください。
- ・ **棚 経**
  - ・ 11日～15日まで、各壇信徒様のお宅を廻らせていただきます。最近は大変大雨など、交通事情だけでなく様々な要因で予定時間が大幅に前後することも考えられます。何卒御寛容の程、よろしく御願い申し上げます。
  - ・ これまで20年以上にわたりお世話になっておりました小笠原上人ですが、急なご体調の変化により今年はお越しいただけなくなりました。誠に残念ですが、増上寺にて御修行を続けておられる関慈愛上人と知恩院式衆で活躍されている木津恵瓊上人にお越しいただきます。何卒了承の程御願い申し上げます。

## ・ **地藏盆、祠堂施餓鬼**

- ・ 祠堂施餓鬼会 8月17日(土)午後1時より
- ・ 地 蔵 盆 8月24日(土)午前10時より

以上が主な概要です。御不明な点や御要望、御意見等がございましたら、お寺または総代、評議員様まで御連絡御願い申し上げます。

## 【永代祠堂金御寄進のお知らせ】

木口晃久氏より故木口良子氏の三回忌法要をお勤めいただいた折、永代祠堂の御寄進をいただきました。

良子氏は晃久氏が新本堂建築の大変な時から現在も永年にわたり檀家総代として御活躍いただくことを了承いただくと共に、ご家庭では誠実温厚で笑顔が絶えない立派な方であったとお聴きしております。

今後、施餓鬼法要にて永代供養を勤めさせていただきます。有り難うございました。

- ・ 永代祠堂料 金50万円 為 浄光院法誉榮照良信大姉菩提(故 木口良子氏)  
施主 木口晃久氏